



# いきものログ市民参加型調査機能の活用による しおかぜ自然環境調査の実施について

環境省自然環境局生物多様性センター 震災委員会及び調査科



## いきものログとは？

いきものログは、全国の生物情報を共有化して提供するインターネット上のシステムである。環境省をはじめとするさまざまな主体が利用でき、現在430万件以上の生物情報がデータベースに蓄積されている。

過去の自然環境保全基礎調査などの調査結果についても地図上で閲覧することができ、GISソフトで表示可能な形式でダウンロードできるほか、しおかぜ自然環境調査のような市民参加型調査を実施できる機能を備えている。

## しおかぜ自然環境調査とは？

しおかぜ自然環境調査は、東日本大震災の生物への影響を把握するための市民参加型調査である。

震災影響を見るため対象種20種を選定し、震災前後の対象種の情報を投稿してもらうことで震災影響を把握することを目指している。

調査範囲を広く全国とすることで、調査対象種の全国的な分布状況と震災影響を比較、評価することができる。



[http://ikilog.biodic.go.jp/?\\_action=modelarea&model\\_area\\_id=2](http://ikilog.biodic.go.jp/?_action=modelarea&model_area_id=2)



## しおかぜ学習帳について

生きものの知識がない参加者に対してもわかりやすく調査の目的や調査方法を伝えるため、調査の手引きとして「しおかぜ学習帳」を作成し、配付している。

調査対象種について見つけるポイントや特徴について書かれており、地域での観察会や環境教育の場においても活用できるよう工夫されている。



しおかぜ学習帳

しおかぜ学習帳は調査紹介ページからもダウンロード可能  
[http://www.biodic.go.jp/shiokaze\\_chosa/index.html](http://www.biodic.go.jp/shiokaze_chosa/index.html)



しおかぜ学習帳表紙デザイン

## 調査結果の閲覧と今後の予定について

調査結果は、しおかぜ自然環境調査の調査ページで検索・閲覧することができるほか、生物情報の確認年月を絞り込むことで震災前後の生物情報を比較することが可能である。調査終了後には生息地の特徴や環境の変化などについてまとめて報告を行う予定である。

しおかぜ自然環境調査に協力してもらえらる活動団体を募集中！ 問合せはいきものログ運営事務局まで



いきものログ運営事務局（一般財団法人 自然環境研究センター内）

受付：平日（土日、祝日、年末年始の12月29日～1月3日を除く）10:00～17:00 TEL: 03-6659-3626 E-mail: ikilog\_info@jwrc.or.jp

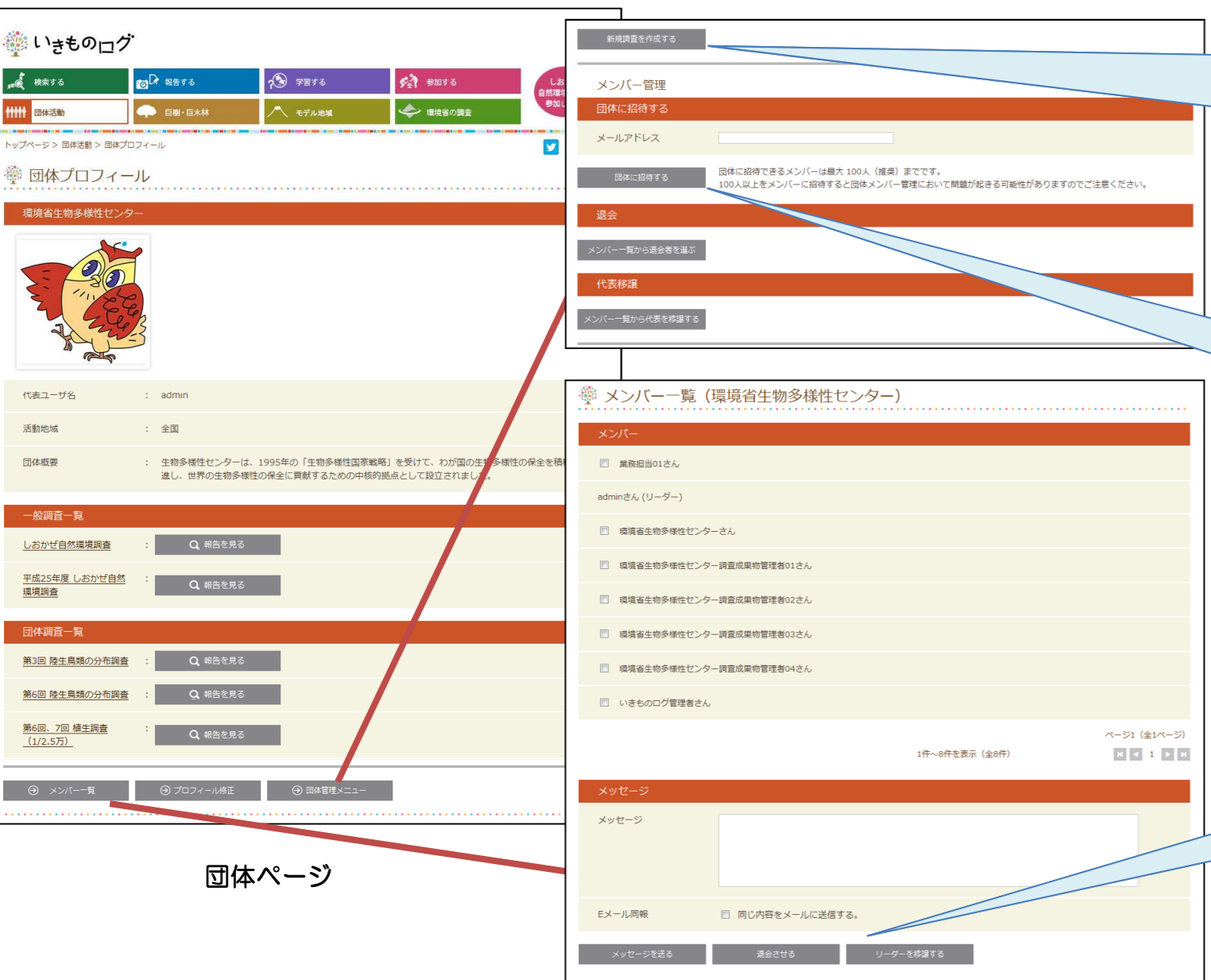
## いきものログの活用で広がる可能性 ～調査をサポートする様々な機能～



いきものログでは、調査機能を利用して環境省だけでなくさまざまな主体が団体オリジナルの調査を実施することができる。

### I. 団体登録でいきものログの調査機能を活用する

ユーザは、ログイン後に団体活動ページから調査を実施する団体を登録することで団体ページを立ち上げ調査機能を利用することができる。



団体の管理者は団体ページから調査設計を行い、いきものログユーザを対象とした団体オリジナルの調査を実施することができる。

他のユーザを団体に招待して団体の活動を共有することができる。

団体メンバーへの連絡や、団体のリーダーを移譲するなど、メンバーの管理ができる。

### II. 団体オリジナルの調査を実施する

いきものログを活用して実施できる調査は大きく分けて2種類用意されている。

- いきものログ全ユーザを対象とした市民参加型調査
- 団体のメンバーのみを対象とした団体内調査

	1. 市民参加型調査	2. 団体内調査
調査参加者	いきものログの全ユーザ	団体メンバーのみ
対象種数	30種まで	無制限
結果の公開	随時公開	まとめを行うまでは非公開

### III. 報告用アプリの活用で調査をもっと身近に

いきものログでは、スマートフォンやタブレット端末で利用できるアプリを提供している。このアプリには、GPS機能搭載端末であれば、写真のExif情報から、生きものを確認した場所を記録する機能や、調査予定地が電波の届かない場所でも事前に地図をダウンロードすることで一時的に生物情報を端末内に蓄積し、調査終了後にまとめて報告できる機能が実装されている。



報告用アプリ画面

### いきものログを活用して生物調査を行うメリット

- ◆ 調査員不足等で調査が難しかった地域や対象種についても調査が可能になる。
- ◆ 市民参加型調査で広く一般に参加を呼びかけることで、参加者が地域の自然について関心を持つなど、普及啓発を行うことができる。
- ◆ 収集した情報をいきものログに蓄積された他の情報と比較・評価することができる。
- ◆ 団体の活動を広く一般に紹介することができる。

いきものログを活用して福岡県が実施中の「ふくおか生きもの見つけ隊」では、15種の対象種について多数の報告が寄せられており、市民参加型調査として定着しつつある。生物多様性センターでは、より多くの主体にいきものログを活用した調査を実施していただけるよう、システムの改修などを進めていく。